

平成25年9月29日  
今週のベストショット



青松園A 三苦フレンズ 対 奈多クラブ

投げては1安打完封、打ってはレフト越えHRの奈多クラブ今林瑠生選手の一振り。

写真：ブルーマーリンズ 井上優貴

雁レク軟式3 手に汗握るシーソーゲーム、死闘の末ドロー！

雁ノ巣ライナーズ（5勝2敗3分）30200 5 有馬—鳥越

新町ウインズ（5勝4敗1分）40001 5 藤田—今林

HR：岩隈（雁ノ巣） 2BH：中口（雁ノ巣） 藤田2、永淵、今林（新町ウ） 盗塁：明瀬（雁ノ巣）

優勝争いに残るためにはもう負けられない雁ノ巣ライナーズは、新町ウインズのエース藤田投手をいかに打ち崩すかが見どころの1戦。初回ライナーズは先頭中口選手がいきなり二塁打で出塁。続く池内選手は四球で無死一、二塁のチャンスに三番国東選手のバンドが藤田投手の悪送球を誘い二者が生還。さらにワイルドピッチで1点加え幸先よく3点を先制する。対するウインズはその裏、二死一二塁から藤田選手の二塁打で1点返し、続く永淵選手の二塁打で二者が返り同点に追いつく。さらに松岡選手のライト前タイムリーで1点加え3-4と逆転する。しかし、ライナーズは三回表、久保田選手を一塁に置き六番岩隈選手が藤田投手の速球をライト越えへ運ぶ2ランで5-4と逆転した。時間切れも迫ったウインズは五回裏、一死から藤田選手が相手エラーで出塁、二塁へ進むと、続く永淵選手の値千金のライト前タイムリーで生還し同点とする。さらに二死一二塁とサヨナラのチャンスに九番泉選手の放ったセンター前に抜けようかという当りをライナーズ明瀬遊撃手が辛うじて捕球、二塁へ送りフォースアウトとしゲームセット、ドロー。取られては取り返す展開で両チームの気迫が感じられたナイスゲームでした。（記事、写真：ソルトベイスターズ 田中裕次郎）



再三のピンチも粘投で切り抜けるライナーズ有馬投手。



球威劣らずウインズ藤田投手。





一回表、先制のホームを踏むライナース中口選手。



初回、盗塁を決めるライナース明瀬選手。



初回3点目のホームイン、ライナース国崎選手。



一回裏、反撃の二塁打を放つウインズ永淵選手。



一回裏、ウインズ永淵選手の2点タイムリー二塁打。



バントの構えに機敏に反応するウインズ渡辺三塁手。



不意なバントに対応するライナース国崎三塁手。



素早いバント処理のウインズ藤田投手。





三回表、右超え2ランで悠々ホームインのライナース六番岩隈選手。



四回裏、ウインズ安藤（一）選手が決死のホーム突入もタッチアウトで同点ならず。



最終回、サヨナラの場面で反応良く捌くライナース有馬投手。



この試合3安打と打撃好調、ライナース一番中口選手。

### 青松園B 緊迫の好ゲーム！フルイニングの熱戦！

奈多サンデーズ（9勝1敗0分）2001000 3 塚本○ー荒口

三苦三球会（4勝5敗0分）0002000 2 吉留●ー山崎

**3BH**：土田（奈多サ） **2BH**：宮口、塚本（奈多サ） **盗塁**：野々下（奈多サ）、堺和彦、浜口（三球会）

初回、先攻の奈多サンデーズは一番木下選手が四球、二番野田選手が手堅く犠打で二塁へ進め、三番秋山選手の打球は遊撃失策で先制。更に五番土田選手のライト前安打で2点目を奪った。四回表、四番野々下選手のセンター前に続き、五番土田選手の三塁打で加点する。しかしスクイズ失敗もあり無死三塁から追加点をあげることが出来なかった。このピンチを吉留投手の力投で切り抜けた三球会は、その裏に三番小倉選手、四番堺太一選手の連打で反撃開始。五番堺和彦選手の犠打、六番浜口選手の犠牲フライ、七番堺達也選手のセンター前で2点を返し1点差。その後も緊迫した投手戦が続き、七回裏三球会は、先頭の右山選手が安打を放ち、三球会ベンチは逆転を信じ代打藤沢選手を送る。しかしサンデーズ塚本投手の気迫のピッチングに後続が続かず、観客をも引き込んだ熱戦は1点差でサンデーズが勝利を掴んだ。（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺信彦、写真：松下照夫）



スクイズ失敗、本塁タッチアウトとなる土田選手。



2点タイムリー、三球会堺達也選手！





堅守のサンデーズ内野陣。



盗塁成功、三球会浜口選手。



間一髪ダブルプレイとならず・・・。



三塁からタッチアウト！

### 雁レクD 新町パイレーツ三番白岩選手の二打席連続HRで大活躍

三友クラブ (3勝6敗1分) 200200 4 足達●-清原

新町パイレーツ (3勝4敗1分) 20203× 7 吉田○、八坂-桐島

HR: 松尾 (三友ク) 白岩2 (新町パ) 盗塁: 桐島 (新町パ)

先攻の三友クラブは初回、二番の大坪選手がヒットで出塁すると、四番の松尾選手がライトオーバーの特大ホームランで2点を先制し、幸先のいいスタートだったが、その裏すぐさま新町パイレーツの反撃が始まる。パイレーツは二番升井選手が四球で出塁し、三番白岩選手のヒットやWPなどで進塁すると、相手のエラーで2点を取り返す。2回表裏は両投手ピンヤリ3人で抑え、三回裏から再び試合が動き出した。その三回裏、パイレーツの一番の桐島選手がヒットで出塁し、PBで三塁まで進塁すると、三番白岩選手の左中間に抜けるホームランで2点を追加する。しかし四回表、三友クラブも負けじと先頭の四番松尾選手と五番駄原選手の連続ヒットでランナーを溜めると相手のエラーで2点を追加し同点に追いつくが、三友クラブの反撃はここで終わり。五回裏パイレーツは、またもや三番白岩選手の3ランで3点をリード。最終回吉田投手は抜群のコントロールで三友クラブを抑えて試合終了。お互いの1点にこだわる気迫が見えて、気持ち引き締まる好ゲームだった。

(記事: 奈多フェニックス 西藤圭介、写真: 今林英二)



多彩な変化球を使う三友クラブ足達投手。



抜群のコントロールのパイレーツ吉田投手。



特大HRを放つ三友クラブ松尾選手。



二打席連続HRのパイレーツ白岩選手。



本日のMVP白岩選手（左）と八坂選手（右）。



## 青松園A あわや不戦勝？相手チーム選手揃わずぎりぎりの試合開始！それでも今林（瑠）投手 圧巻のピッチング！！

三苫フレンズ（1勝9敗0分）00000 0 生野（拓）●、阿久井一宮

奈多クラブ（7勝1敗3分）21060 9 今林（瑠）○-安河内

HR：今林（瑠）（奈多ク）3BH：今林（瑠）（奈多ク）2BH：安河内（奈多ク）

盗塁：生野（拓）（三苫フ）、今林（祐）2、砂場2、安部2、安河内、吉田（奈多ク）

あわや不戦敗かと思わせた試合開始3分前、フレンズ亀井監督を含め7名しか揃わず主審も不戦敗の警告を通知しようとした瞬間、何と2名がぎりぎり整列に間に合いバタバタした中での試合開始となった。一回表、フレンズはバタバタ劇の中、足並みそろわず振り逃げのみの出塁で抑えられた。一回裏、奈多クラブは今林（瑠）選手のフォアボールから続く今林（祐）選手のレフトのエラーにて出塁。ここで四番安河内選手の目の覚めるようなセンターオーバー2ベースにて先制！今林（卓）選手のライト犠牲フライにて2点目、主導権を握る。なんとかしたいフレンズ打線だが、二回～四回まで三塁を踏ませてもらえない三者凡退が続く。四回裏、奈多クラブの猛攻がはじまる。七番砂場選手のレフト前ヒットを皮切りに安部選手のセンター前、吉田選手のサード前ヒット、今林（賢）選手がDBでノーアウト満塁！そして、今林（瑠）選手が打者としても豪快なレフトオーバー満塁ホームラン！！をたたきだした。その後も、2点を追加しこの回一挙6点！！フレンズ打線は、この回まで今林（瑠）投手の前にヒットなし、このまま大記録が生まれるか？？と思わせた五回表、四番寺山選手に期待されたがあえなく三振、続く五番御手洗選手が何とノーヒットノーランを消すセンター前ヒット！！一矢報いた！！フレンズ打線は最終回も三者凡退におわり、試合開始前からのいやな雰囲気は消しきれず完全に抑えられ試合終了。結果はやってみないとわからない事が多いが、本日の試合は開始前からの準備不足が大きく響いた試合でした。（記事：ブルーマーリンス 末松勝祝、写真：井上優貴）



ぎりぎり間に合ったフレンズナイン。



フレンズ生野拓磨投手。



一回裏先制タイムリーの奈多クラブ安河内選手。



四回裏、すかさず盗塁を決める奈多クラブ砂場選手。





続いて阿部慶彦選手のヒット。



一塁上で思わずガッツポーズの安部選手。



奈多クラブ吉田選手のサード前イレギュラーヒット。



満塁として、今林瑠生選手の一撃がレフトへ！



手ごたえ十分！



満塁HRで盛り上がる奈多クラブベンチ。



ノーヒットノーランを免れるフレンズ御手洗選手のセンター前ヒット。



投打のヒーロー！！安河内捕手、今林（瑠）投手。

## 第19週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第19週9月29日は4試合が行われました。

雁レク3の雁ノ巣ライナース対新町ウインズ戦は、ライナースが3点先制するもすぐさまウインズが二死からランナー2人を置いて三連打で一気に逆転。ライナースが三回表に六番岩隈選手の2ランで再逆転するも最終回ウインズはエラーで出た藤田選手を永渕選手が返し、5-5の同点で終了。ライナースは一番中口選手が3打数3安打を放ったが、2・3打席目が二死ランナー無の状況だったのと、最終回到前の打席でHRを打っていた岩隈選手の前で終わったのが痛かった。ウインズも逆転サヨナラまであと一歩でした。

青松園Bの奈多サンデーズ対三苦三球会戦は、サンデーズ6安打、三球会7安打だったが、三球会の追撃をかわしたサンデーズが3-2で勝利。三球会も3-0の劣勢からスクイズをかわし、2点を取って追いつき、最終回二死三塁を作ったが、サンデーズ塚本投手が踏ん張り、首位を守りました。両チームともいいタイミングでタイムを取り、きちんと対策を確認しあうので、締まった試合になりますね。

雁レクDの三友クラブ対新町パイレーツ戦は、これまたシーソーゲームでしたが試合を制したのはパイレーツ三番白岩選手のバットでした。3打数3安打5打点の活躍で追いつく三友クラブを振り切りましたね。三友は六番からの下位打線に当たりがなく、惜しい試合でした。パイレーツは次週五割復帰を懸けて、同じく3勝4敗1分のレッドサンデーズと対戦です。

青松園Aの三苦フレンズ対奈多クラブは、奈多クラブ今林瑠生投手の華麗なピッチングで1安打完封5奪三振。打ってもあの広い青松園Aのフェンス越えHRですから、守ってたフレンズもあんどりでしたね。奈多クラブはこの試合足も使っています。足と守備にはスランプは無いといいますが、どんどん使った方がいいです。フレンズは五番御手洗選手の意地のヒットでノーヒットノーランを免れるのがやっとでした。

ソフトバンクホークスは最終戦0-3で完封勝ちしましたが、5年連続のクライマックスシリーズ進出を逃してしまいました。

CSがあるとないでは、地元の盛り上がりが全然違いますね。

こうなったら、自分たちで試合に勝って盛り上がるしかありません！